

## 政令番号1 亜鉛の水溶性化合物

各都道府県での届出事業所以外からの「排出源別排出量/使用目的別使用量」（平成18年度）

(E+nは $\times 10^n$ 、例えばE+3は $\times 1000$ の意味です。)

都道府県コード	都道府県名	排出量/使用量(kg/年)							合計
		裾切以下事業所	自動車等移動体	塗料	洗剤・化粧品等	農薬	農業用以外殺虫剤	その他	
1	北海道	1.1E+3							1,133.5
2	青森県	1.9E+2				2.5E+3			2,653.4
3	岩手県	3.3E+2							329.6
4	宮城県	5.8E+2				3.0E+2			878.2
5	秋田県	2.6E+2				2.0E+2			453.9
6	山形県	7.0E+2				7.9E+2			1,491.4
7	福島県	7.6E+2							762.2
8	茨城県	1.5E+3				2.0E+2			1,739.1
9	栃木県	1.5E+3				9.9E+2			2,530.8
10	群馬県	2.2E+3				3.9E+2			2,640.0
11	埼玉県	5.1E+3							5,055.1
12	千葉県	1.6E+3							1,600.4
13	東京都	9.0E+3							8,973.5
14	神奈川県	4.4E+3							4,441.0
15	新潟県	2.5E+3							2,465.0
16	富山県	1.1E+3				6.8E+3			7,907.1
17	石川県	9.4E+2				2.0E+2			1,136.8
18	福井県	6.1E+2				1.2E+3			1,795.9
19	山梨県	6.1E+2				2.0E+2			807.9
20	長野県	1.9E+3				9.9E+1			1,952.7
21	岐阜県	2.3E+3							2,263.1
22	静岡県	3.8E+3				5.9E+2			4,373.1
23	愛知県	7.3E+3				5.9E+2			7,870.8
24	三重県	9.6E+2				9.9E+1			1,057.0
25	滋賀県	8.2E+2							824.6
26	京都府	1.7E+3							1,662.4
27	大阪府	9.9E+3				9.9E+1			9,955.5
28	兵庫県	4.1E+3							4,083.4
29	奈良県	2.6E+2							257.0
30	和歌山県	2.9E+2				9.0E+3			9,249.3
31	鳥取県	1.5E+2				9.9E+1			245.1
32	島根県	2.0E+2							202.8
33	岡山県	8.7E+2				9.9E+1			969.9
34	広島県	2.1E+3				3.0E+2			2,380.0
35	山口県	4.8E+2				3.0E+2			779.5
36	徳島県	1.5E+2							146.2
37	香川県	3.9E+2							389.6
38	愛媛県	4.3E+2				3.9E+2			823.1
39	高知県	2.0E+2				9.9E+1			302.9
40	福岡県	1.2E+3				2.0E+2			1,431.5
41	佐賀県	2.4E+2				4.9E+2			731.1
42	長崎県	3.9E+2							394.4
43	熊本県	4.9E+2				2.9E+3			3,350.1
44	大分県	2.3E+2							233.2
45	宮崎県	2.2E+2				9.9E+1			316.4
46	鹿児島県	3.2E+2				2.5E+3			2,782.5
47	沖縄県	2.5E+2				2.0E+2			446.6
	全国	7.7E+4				3.2E+4			108,268.1